

会員企業ご紹介 32

CompTIA 日本支局

<http://www.comptia.jp>



CompTIAは、1982年、IT業界の要請から発足した非営利の業界団体です。ITに携わる企業や個人の利益を高めるための「文教活動」、CompTIA認定資格での「認定」、IT業界の声を反映しIT政策に反映するための「政策支援活動」、IT業界への「社会貢献」の4つを柱として活動を続けています。米国シカゴ本部を中心に世界に10の拠点をもち、2001年に日本支局が設立されています。

CompTIA 認定資格

1993年より提供を開始してCompTIA A+をはじめとするCompTIA認定資格は、業界のエキスパートにより開発され、実践力、応用力を評価する認定資格として、法人を中心にワールドワイドで150万人以上に取得されています。現在、日本国内では、10の業務分野におよぶ認定プログラムとコミュニケーションに関連したスキル診断を提供しています。

特に、CompTIA A+、CompTIA Network+、CompTIA Security+の3つの認定資格は、ISO 17011/17024の認定を受け、国際的に認知された品質基準に準拠した信頼性の高い認定資格として評価されています。

CompTIA 認定資格の特徴は、特定のベンダーや製品に依存しない「ベンダーニュートラル」、特定のテクノロジーに特化しない「テクノロジーニュートラル」であることがあげられます。現在のIT人材として求められている、IT環境を網羅的・横断的に理解しシステムのライフサイクル全般を理解している「マルチスキルな人材」を育成することが可能な認定資格です。

世界中で信頼を支える人材の証

CompTIA 米国本部が実施したセキュリティ調査では、「セキュリティインシデントの原因」として約60%が「人為的エラー」と回答しています。そのため企業における「情報」という資産を守るため、認定資格によりスキルの可視化をする企業や機関が増えてきています。

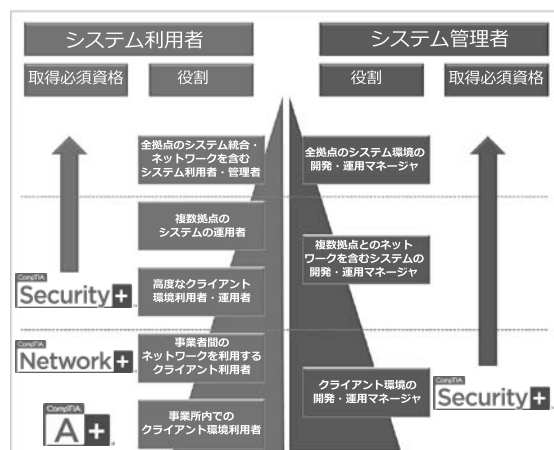
一例として、米国国防総省では、PC利用者から管理者まで情報保証に携わる人材に対し、業務に就く際に、業務内容や役割に応じCompTIA A+、CompTIA Network+、CompTIA Security+の3つの認定資格を取得することを必須としています。

また、日本国内では、スマートフォン等の普及により様々なITデバイスが活用される中、企業のセキュリティを確保するために全社員に対しCompTIA Strata IT Fundamentalsを活用いただき「IT力」の向上を検討する企業が増えてきています。

CompTIA では、これらのモデルをベースに様々なパートナーを通じて、企業でのネットワーク、セキュリティ人材育成のご提案・ご支援をさせていただきます。

CompTIA認定資格（日本語試験配信済/2011年7月現在）

A+ Certification Program	PC環境の設計・構築・運用・管理を実施する上で必要とされる知識やスキル、現場能力・業務遂行のための考え方を問います。ソフトとハードの両面のITスキルに加え、セキュリティやコミュニケーション等の業務能力を証明します。
Network+ Certification Program	「ネットワーク技術」に携わる職種において、実務上共通して必須な“実務能力”とされる技術知識・スキル・問題解決能力・技術遂行能力の考え方を問います。
Security+ Certification Program	セキュリティの一般概念、インフラストラクチャセキュリティ、暗号技術や業務、組織面でのセキュリティポリシー等幅広くセキュリティの“実務能力”を評価します。
Server+ Certification Program	サーバーのハードウェアやソフトウェアの構築、メンテナンス、仮想化、災害復旧やトラブルシューティング等サーバー運営上で必要とされる知識やスキルを証明する業界初の認定資格です。
CDIA+ Certification Program	文書画像管理ソリューションのコンサルティング能力を評価する認定資格です。要求定義から導入まで一連の流れで起こりうる様々な局面での対応を問います。
CTT+ Certification Program	インストラクターをはじめ、人事/教育部門、管理職ならびに高等教育機関に従事する人のプレゼンスキル、コミュニケーションスキルを問う「人と向き合う業務」に必要な“実能力”を評価します。
Project+ Certification Program	小規模から中規模プロジェクトを遂行する際に必要とされる知識を体系的に学習することができ、業界を問わず、プロジェクトマネジメントに必要な標準知識とベストプラクティスに基づく“実務能力”を評価する認定資格です。
PDI+ Certification Program	プリンティング&ドキュメントイメージングのサービスおよびサポート業務に携わるプロフェッショナルに必要な知識と行動を評価する認定資格です。
Strata IT Fundamentals	PCコンポーネントの識別や利用用途の理解、各種設定、ソフトウェアインストールの発行、互換性により発生する障害の特定、セキュリティリスクの認識および予防等が出題。
Strata IT for Sales	有効なコミュニケーションスキルを使用しプロ意識を持った顧客とのコミュニケーション、ユーザーのIT環境の特定、顧客からの要求に適切なソリューションの提供、セールス過程における技術スタッフとの調整などに関する知識が出題。
ビジネス・コミュニケーションスキル診断	ビジネスの集団の一員として、仕事の成果をあげる、事業目的の達成に貢献するといった目的を持った個人が主体となりコミュニケーションを行う目的やビジネスのゴールに近づくために必要なスキルを分析。



お問い合わせ先

CompTIA 日本支局 <http://www.comptia.jp/>

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-4-9

水道橋MSビル7F

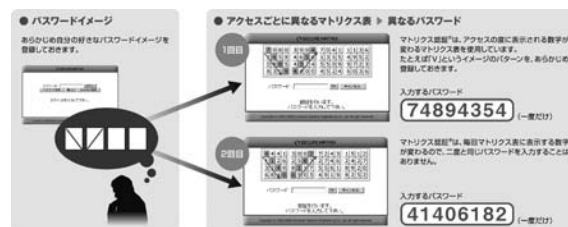
TEL 03-5226-5345 FAX 03-5226-0970

e-mail info_jp@comptia.org

株式会社シー・エス・イー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：関 好行、以下CSE）は、創業以来約40年間に渡り独立系のソフトハウスとして、金融ならびにメーカー、官公庁、自治体などあらゆる分野におけるソフトウェアの開発実績を重ねてまいりました。「お客様と共に成長するサービスを提供する」をミッションとして、お客様の事業活動における業務効率化、顧客創造、リスクマネジメント等に貢献するサービスを提供します。セキュリティ分野においては、自社開発の本人認証システム「SECUREMATRIX®」（セキュアマトリクス）を始めとする豊富な取扱商品と長年に渡る開発やサポートの実績を活用し、日々変化する新しい脅威からお客様を守るべく提案から導入・運用サポートまで一貫したサービスを提供し、安全で便利な高度情報通信社会の構築へ向けた取り組みを行っております。

SECUREMATRIX® のご紹介

SECUREMATRIX® は、CSE が開発した、認証デバイスを一切使わない本人認証システムです。人が頭の中に想い描くイメージからワнтаイムパスワードを生成する「マトリクス認証®」方式を採用し、セキュリティおよび利便性の向上、コスト削減のすべてを同時に実現します。複雑なパスワードをもう覚える必要はありません。また高価な認証デバイスを利用する必要はありません。コストを削減したい「企業」や、セキュリティを高めたい「IT 管理者」、また面倒なことはしたくない「社員」など、様々な立場の方が抱えるパスワードに関する悩みを一気に解決するのが「SECUREMATRIX」です。



SECUREMATRIX for CLOUD LOGON

「使いやすい認証で、もっと安全にクラウド環境を利用したい。」

クラウド環境のセキュリティは「マトリクス認証」

- 使い捨てのワнтаイムパスワードで認証を強化
- IPアドレス制限やトークン型ワнтаイムパスワードより利便性の高い認証を実現
- デバイス不要だから、管理工数やデバイス購入コストを一気に削減
- ブラウザだけで強固な認証を提供する「マトリクス認証」はクラウド環境と好相性

<Salesforce CRM 連携リーフレット>

http://cseltld.co.jp/smx/docs/case_SMX%20for%20SalesforceCRM.pdf

SECUREMATRIX for RADIUS LOGON

「通信経路が安全でも、「認証」が脆ければ意味がない。」

RADIUS対応機器の認証は「マトリクス認証」

- さまざまなVPNやファイアウォールと連携し、認証を強化
- SSL-VPNは、ブラウザだけでダイレクトログオン
- 独自のRADIUSサーバを実装。複数のRADIUSクライアントをサポート
- RADIUSアトリビュートに対応
- 認証VLAN等のRADIUS対応機器とも連携可能
- スマートフォンにも対応



SECUREMATRIX for DESKTOP LOGON

「社内も「マトリクス認証」に統一すれば、使い勝手はさらに高まる。」

「社内」でもデスクトップへのログオンは「マトリクス認証」

- 「Ctrl」+「Alt」+「Del」を押したら、「マトリクス認証」が可能
- 意識することなくActive Directoryと連携が可能
- ネットワークに接続されていなくても、利用可能（オフライン認証）
- スクリーンセーバーのパスワードロック時にも利用可能



SECUREMATRIX for APPLICATION INTERFACE

「マトリクス認証の可能性を思いのままに。」

既存システムやアプリケーションに「マトリクス認証」

- CまたはJAVAに対応した「マトリクス認証」用API
- 会員向けWEBサイトの認証や、既存システムの認証を強化
- API開発キットを提供
- セキュリティを考慮したシンプルなAPI



※画面は、WatchGuard SSL100/560 と API で連携した例

* 「SECUREMATRIX」、「マトリクス認証」は株式会社シー・エス・イーの登録商標です。

* 文中記載の社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

お問い合わせはこちらまで

株式会社シー・エス・イー ICT 営業部

TEL: 03-3463-5633 MAIL: sales@cseltld.co.jp

WEB: <http://www.cseltld.co.jp/smx/ask.htm>

株式会社ネクストジェンは設立以来、大規模IPセントレックスやIM/Presenceシステムといった専門的技術を必要とするソフトウェア製品を、多くの通信事業者や企業に提供してまいりました。また、製品の設計・開発だけでなく、検証と保守サポートまで、ワンストップで提供する体制を有しております。この中で蓄積した豊富な技術ノウハウを活かし、SIP/VoIPサービスを提供する通信事業者や企業向けに、ネットワークセキュリティの確保をサポートするのがSIP/VoIPネットワーク・セキュリティソリューションです。



SIP/VoIPセキュリティ・コンサルティング

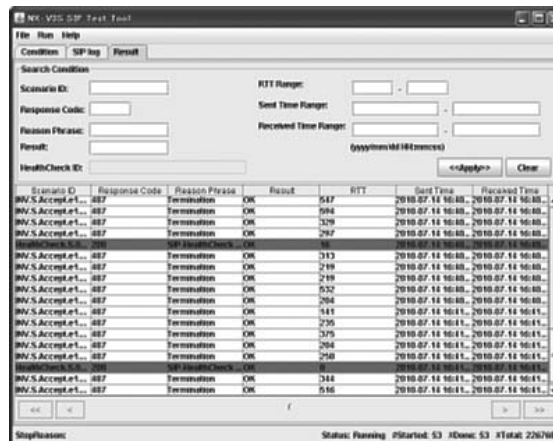
国内では唯一のSIP/VoIPシステムを対象としたセキュリティ診断サービスです。これまでにIP-PBXや端末、通信キャリアの網などを対象に100以上のシステム診断実績を持ち、盗聴、発着番号詐称やDoS攻撃等によるサービス停止といった脅威を検出、お客様環境に即したリスク分析をいたします。また、既存のセキュリティ上の脅威だけでなく、対象システムの持つ脆弱性をも検出し、効率的なリスク対策・管理やシステムの品質向上に貢献いたします。

SIP/VoIPセキュリティ・システム NX-C6000



NX-C6000 は、VoIP やIMシステムなどの保守運用に不可欠な、ネットワークフォレンジック&IDS製品です。SIPやH.323でのメッセージ詳細から流量マクロレベルまで、ネットワークの状態を可視化します。問題解析作業の効率向上、及びサイレント故障やセキュリティ脅威の検出といった保守上の課題を解決するために必要な機能を集約したシステムです。

SIP/VoIPセキュリティ・ツール NX-V3S



NX-V3SはSIPプロトコルの脆弱性テスターです。死活監視を行いながら250万以上の問題が発生しやすいメッセージを送信、試験対象とするSIPエンティティの脆弱性を特定します。製品出荷前の最終確認に使用することで、製品の品質向上にお役立ていただけます。

お問い合わせ先

株式会社ネクストジェン ネットワークセキュリティ事業本部

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-4 Tel:03-3234-6855

URL:<http://www.nextgen.co.jp> E-mail: sales@nextgen.co.jp